

子どもの安全

○例年より短い夏休みが昨日で終わりました。364人の子どもたち（2学期から転入の5年生含む）は、どうやら大きな事故なく登校できたようです。ただ、外科手術のために数か月入院予定の子や、腰を痛めて運動会含め2学期の体育参加が危うい子が気になります。逆に、夏休みを待って手術を受けたり、けが・病気を完治させたりした子もいたようです。学校全体は活気が蘇っています。

○8月1日の夜には、見守り隊と育友会の方が子どもたちの安全について話し合ってくれました。8月22日の夜には貴志中学校区の学校、保育園等と保護者、地域の方々とが教育を語る会の席でも子どもたちの安全についての話が話題に上りました。

○今年の夏は災害級の猛暑ということで、子どもたちが楽しみにしている夏祭りでは、育友会がミストファンやスポットクーラーを用意したり、クーラーをつけた教室を開放したりしてくれました。



○今年ほど「防災速報」を見た年はありません。例年は台風が近づくと頻繁にみていたものですが、『暑さ指数 (WBGT)』なるものをこんなにチェックしたのは初めてでした。雨や台風等で学校の水泳が中止になることがあっても、暑すぎて実施を見送ることは初めてでした。本校では7月下旬の2回だけ中止にしましたが、行った日でも水泳時間を短くしたり、プールサイドには、水筒だけでなく、水から上がった時に頭や体に覆うバスタオルを持ち込んだりと対策を講じました。プールに日陰がまったくない学校などは夏休みの水泳を全面中止したようです。本校はミニバスケットの練習も様子を見ながら実施をしました。

○そんな状態なので、プールサイドや体育館、芝生の上などの条件が違っても『暑さ指数 (WBGT)』が測れるように「黒球式熱中症指数計」を購入しました。

○今年は始業式が早いので、9月末の運動会まではゆったりとしたスケジュールで練習に取り組めそうですが、まだまだ暑さは続きそうです。上記の「指数計」を駆使するだけでなく、子どもたちの実際の体調と相談しながら、安全環境を整え事故がないようにと考えています。

○春は交通安全教室で警官の方が、夏休みは着衣泳の講師の方が各々伝えてくれたように、最終的には「自分の身は自分で守る」子になってほしいと願っています。 〈学校長〉

貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。